

令和 7 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|-----|----------|-----|-------|-----|---------|-----|----------------|------|-------|-----|------------|---|---|----|
| 学校番号 | 40 | 学校名 | 県立鹿島高等学校 | | | | 課程 | 全日制 | | 学校長名 | 上田 英雄 | | | | | |
| 副校長名 | 河田 実 | | 教頭名 | | 青木 重雄 | | 十文字 富美絵 | | 事務(室)長名 | | 荒張 明 | | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 46 | 養護教諭 | 1 | 常勤講師 | 4 | 非常勤講師 | 1 | 実習教諭、実習講師、実習助手 | 5 | 事務職員 | 4 | 技術職員等 | 5 | 計 | 66 |
| 生徒数 | 小学科 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 合計 | | 合計 クラス数 | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | |
| | 普通科 | | 128 | 112 | 112 | 125 | 112 | 121 | | | 352 | 358 | 18 | | | |
| | 科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科 | | | | | | | | | | | | | | | | |

2 目指す学校像

| |
|--|
| <p>【教育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 【自治】 道義と秩序を重んじ、自己に責任をもつ、自主・自律の実践を図る学校 ◇ 【勤勉】 学問尊重と真理を求める気風の育成を図る学校 ◇ 【快活】 自他の敬愛と協力による豊かな生活態度の樹立を図る学校 |
|--|

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

| | |
|---|--|
| <p>育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)</p> | <p>卒業までに次のような生徒を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 思考力・判断力・表現力を身に付け、主体的に課題発見・解決に取り組む生徒 (2) 国際感覚を身に付け、グローバル化が進展する社会で活躍できる生徒 (3) 「自治・勤勉・快活」の校訓にもとづき、地域や国際社会のリーダーとなる生徒 |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p> | <p>次の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。</p> <p>【知】 コース選択制、進学重視型単位制を生かした教育課程で、生徒一人一人の学力向上と進路実現を図る学校</p> <p>【徳】 カリキュラム・マネジメントを推進し、探究活動、キャリア教育等を充実させ、課題解決能力と豊かな人間性、社会に貢献できる力を育成する学校</p> <p>【体】 特別活動、部活動等への生徒の主体的な取組を推進し、心身の健全な育成を図る学校</p> |
| <p>入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p> | <p>次のような生徒を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 探究心があり、学習意欲の高い生徒 (2) 地域や国際社会に貢献する意欲の高い生徒 (3) 諸活動に積極的に取り組み、自分と集団を成長させる意欲の高い生徒 |

別紙様式 1 (高)

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|------|---|--|
| 学習支援 | <p>自らの意志で主体的に学ぼうとする生徒がいる反面、基礎学力の定着や学習意欲が不十分な生徒もいて、学力や学習意欲に差が見られる。部活動との両立を支援し、多様化する学習環境への対応が望まれる。</p> | <p>基礎学力の定着や主体的な学習態度の育成に向け、ICT 機器を活用しながら「わかる授業」を目指し、「主体的・対話的で深い学び」を推進し、「総合的な探究の時間」の充実に努める。</p> |
| 進路支援 | <p>近年、国公立大学合格者数は 10 名前後で推移している。また、早期に進路決定したいという焦りからか、安易な進路選択に陥るケースも少なくない。生徒自身が自分で進路を決める後押しをし、それに伴って国公立大学及び難関私立大学の合格者が増えることが理想である。年次や教科間で連携し、効果的な方法を共有・研究するなど、学校全体で取り組むことが急務である。就職希望の生徒はこれまでと比較して減少傾向が見られるが、地元企業への就職希望者は一定数存在するので、こちらにも手厚い対応が必要である。</p> | <p>進路実現に向け、キャリア教育の充実を図り、組織的・計画的及び継続的な進路指導を通して、生徒の進路実現を推進する。 進学重視型単位制移行に伴い、これまで以上に大学進学支援の充実に努める。</p> |
| 生徒支援 | <p>生徒は、概ね規範意識及び基本的生活習慣が確立されている。怠学的な欠席・遅刻・早退をする生徒はほとんどいない。頭髪の色や型において指導される生徒は若干名であるが、女子制服のスカート丈について規定に反している生徒の増加傾向がある。女子ソックスについては規程の範囲からはみ出している生徒に遭遇する頻度が高くなっている。 登下校時の自転車の運転マナーについて外部から指摘されることが若干あるが、概ね改善されている。自転車乗車中の車との接触事故が想定以上に発生していることから、交通事故への危機意識の不足がうかがえる。 いじめ防止基本方針の定期的な見直しを行い、予防的にかかわりに重点を置きながらいじめの根絶を目指している。生徒同士の SNS トラブルが後を絶たない現状があるため、情報リテラシーについて外部講師を招き、講話を開くなどの対応を行った。</p> | <p>職員の共通理解・行動を重視する。生徒の規範意識の確立を図る。個に応じた指導体勢を構築する。 自転車乗車マナーの徹底と危機意識の向上およびヘルメット着用の義務化の推進により、重大事故防止に努める。また、加害者になり得ることを想定し、損害賠償保険加入を推奨する必要がある。 生徒個人が利用する SNS トラブルの対応について、教員の共通理解をさらに進める必要がある。</p> |
| 特別活動 | <p>生徒会が主体的に企画・運営し、生徒が自ら積極的に参加し盛況に実施されている。ホームルーム活動は、時間的な制約から、計画どおりの運営に困難もある。行事・ホームルームの際に活動記録、自己の振り返りとしてキャリアパスポートを利用している。ボランティア活動には 3 年次を中心に多くの生徒が積極的に参加しており、地域から高い評価を得ている。本校生の活動が地域社会に浸透し、社会貢献できるよう、更なる働きかけを推進していきたい。</p> | <p>ホームルーム活動の内容の充実を図る。学校行事を生徒主体で企画・運営できるよう支援する。部活動の活性化と働き方改革の両立に向けた取り組み、ボランティア活動への参加意欲を高める指導の工夫も必要である。</p> |
| 渉外 | <p>学校の教育活動を含む全般に対する保護者からの関心が高く、PTA 活動は活発である。だが PTA 総会における参加率がまだまだ低い。総会参加率をさらにあげる工夫をする。同窓会活動では学校、保護者、同窓会が互いに協力して、よりよい学校運営ができるように努力したい。</p> | <p>生徒の学校における生活状況等の情報を保護者に提供し、共通理解を図るとともに、学校、保護者、同窓会が連携しやすい体制を作る。また、同窓会組織において女性会員の参画を促していく。</p> |

別紙様式 1 (高)

| | | |
|---------------|--|--|
| <p>図書・視聴覚</p> | <p>これまで同様、蔵書管理や配架構成の見直しなど、読書環境の改善に取り組んでいる。図書館便り等を発行し、新着図書の紹介等を行っており、図書貸出数が年 1000 冊を超えた。今後は幅広い利用者数の拡大に向け、積極的に P R 活動に取り組むなどして年間貸出数を伸ばしたい。また、生徒図書委員はカウンター業務や蔵書管理、読書会の参加等よく活動している。学校図書館の利用日や開館時間をできるだけ多くし、居場所作りに努めたい。</p> <p>視聴覚分野では、この数年で放送機材がかなり更新されており、その運用もスムーズに行われてきた。今後さらに、視聴覚室の機材を利用しやすい環境に整える予定である。</p> | <p>常駐の専任司書がないため、図書の管理や開館時間等、理想どおりにはいかない部分がある。教員が図書館業務を兼任するには図書の取り扱いや専門ソフトの操作等、かなりの研修が必要である。</p> <p>視聴覚分野では、一部放送設備や配線の老朽化が著しいため、根本的な改善が必要である。</p> |
| <p>保健厚生</p> | <p>校舎内外の清掃活動など、概ね良好である。しかし、一部の生徒に生活環境へのマナーを含む美化意識の欠如が見られ、更なる清掃の徹底を指導している。また、ゴミの分別などにより環境問題の改善に取り組む意識の定着を図る。</p> <p>年 2 回の避難訓練では、全員が災害時に備えて避難経路を確認すると共に、安全確保の方法を指導する。</p> | <p>学習環境の整備と環境美化意識を高めるために、日々の清掃を徹底する。</p> <p>避難訓練においては、出火元や被災箇所、不審者の位置等がどこなのかを放送を聞いて確認し、安全・迅速に避難するような指導の工夫を図る。</p> |
| <p>教育相談</p> | <p>前年度、教育相談室においてカウンセリングを受けた生徒数は、延べ 65 名と増加傾向にある。人間関係等で悩みを抱える生徒が最も多かった。コミュニケーション能力に問題が見受けられる、自閉症スペクトラム (ADHD・高機能自閉症等) の疑いのある生徒が一定数いる。今後、早期発見と対応、S C や外部関係機関等との連携が望まれる。</p> <p>また、校内研修 (年間 2 回)、教育相談部の教員や担任、保護者と S C との面談等をとおして生徒の困り事、対処の仕方について助言を求めている。</p> | <p>問題を抱えた生徒の早期発見と対応を図る。</p> <p>個々の生徒や保護者に対して共感的・多面的な理解を図る。また、生徒情報を共有化し、教員間の共通理解を図りながら、外部機関とも連携した対応にあたる。</p> |
| <p>情報</p> | <p>BYOD 端末の活用が定着化しつつある。更に Google や Classi、ClassiNOTE 等の研修等を実施し、I C T 機器の活用促進を図り、自習やグループ学習など、多様な学習スタイルを推進していく。Classi においては、学習トレーニングやポートフォリオを活用し、アウトプットや個別最適化学習を促す。全校生徒と保護者に対して Classi 登録を強く呼びかけ、情報が滞りなく届くようにする。教育情報ネットワークアカウントの管理と、Google Classroom、Classi の運用を円滑、効果的に行う。</p> | <p>Chromebook の有用的な活用方法について情報を収集し、教職員に研修等で伝えていく。また、Classi で扱う生徒の情報等を適切に管理するための組織的仕組みを整備する。</p> |

別紙様式 1 (高)

| | | |
|--------------|--|--|
| <p>広報</p> | <p>小中学生及び地域住民に対して、本校の教育活動を発信することで、地域との結びつきを大切にする。その結果として、本校の教育活動を質量ともに発展させることが目標である。学校公開や学校説明会の行事に加え、広報紙の発行、ホームページの更新や充実など日常的な活動もある。</p> | <p>広報活動には、学校の情報を生徒や保護者など内部向けと、地域や報道関係など外部向けの2つがある。少子化の影響で、生徒数が定員割れする昨今、特に小・中学校向けの広報活動をさらに充実させる必要がある。また広報活動を見直し、魅力とやりがいのあるものに変えていきたい。</p> |
| <p>働き方改革</p> | <p>令和3年度から働き方改革タスクフォースを設置し、働き方改革を進めてきた。その中で、ペーパーレス化、電子掲示板の活用、定時退勤日の設定、完全退勤時間の設定などを進めてきた。</p> | <p>さらなる業務軽減を図りながら、教員の業務に対する負担感の軽減を図ることも課題である。</p> |

5 中期的目標

| |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の自主的活動を支援し、自分たちの学校を自分たちで築いていくという気概を持たせる。 2 学校行事等への積極的な参加を促すとともに、キャリアパスポートを活用し、学校生活を豊かに送れるようにする。 3 生徒が意欲を持って学習に取り組めるよう生徒の意識調査等を行い、学習に対する相談や進路相談活動の充実を図る。 4 生徒の体力の向上を図るため、継続的な事業を計画立案し、実施する。 5 国公立大学等への合格者数を増やすため、目的意識を明確にしつつ、学習努力を継続するための支援をする。 6 教員のワークライフバランスの見直しと、働きやすい職場環境の構築を図り、働き方改革を推進する。 |
|--|

6 本年度の重点目標

| 重点項目 | 重点目標 |
|---|---|
| <p>学力向上 学習指導の充実を図り、授業と評価の一体化のさらなる改善、ICT 機器の効果的な活用等に取り組むことで、生徒の学力向上に努める。</p> | <p>◇教科指導の充実・学力向上 ア 指導体制の充実と授業時間の確保 イ 指導方法の改善と工夫 ウ 自学自習と学習活動の習慣化 ◇授業第一主義 予習・復習を重視した<鹿島スタイル>の浸透</p> |
| <p>進路指導の充実 生徒が自分を見つめ、将来に対する目的意識を持ち、進路を自ら選択・決定できる進路指導の充実を努める。</p> | <p>◇進路指導の強化 進学目標の早期明確化と、目標実現への継続的取組 ◇就職指導の充実 資格取得の奨励や望ましい職業観・勤労観育成の推進</p> |
| <p>授業改善</p> | <p>◇授業満足度 (K P I) 3.5 以上の達成 (令和7年度学校評価に係る生徒による授業評価)</p> |

